

f t i s y

ashikaga
Sano

いつもとちがうまちを歩くと、

いつもとちがうモノや

風景が目に入る。

まちから帰ってきたとき、

あなたの気分が晴れていますように。

足利 「昔から、を感じるまち。」

石畳を歩いていると、それだけで、普段とちがう場所にいる感じがする。着物で歩いた方がいいような。瓦屋根や木造の建物を眺めながら進むと、大きな境内が見えた。おばあちゃんが言っていたお寺だ。「鏝阿寺って、むずかしい字だね」。ケータイで調べる私に、「せっかくの国宝なんだから、東京で働く前に行ってきた」とおばあちゃんが教えてくれた。室町時代から続くお寺。正直言えば、歴史の勉強でいちばん、その時代を覚えてない。けれど、黄色におおわれた大きなイチョウの木を見上げていたら、歴史の長さを感じて。当たりまえなんだけど、「昔からあったんだ」と思う。すこし緊張しながら、お賽銭を入れて、鈴を鳴らし、手を合わせてみる。お願いごとがありすぎて長くなっちゃったけど、なんだかスッキリして。となりの足利学校にも寄ってみようかな。帰り道、お堀の鯉や鴨がのんびりと、楽しそうに泳いでいた。



佐野 「応援してくれるまち。」

足利の帰り道、佐野のまちなかを通ると、歩道沿いにお店がいっぱい並んでいた。魚屋さん、酒屋さん、駄菓子屋さん。まちがまるごと、商店街のような。大きな「パン」の文字。まちのパン屋さんだ。お店に入ると、制服姿の女の子が、パンが乗ったトレイを持ってレジに立っていた。棚には、コッペパンとかメロンパンとか。高校生の頃、お昼の購買所で買ったパンが並んでいる。「受験勉強がんばってね」。声に振り向くと、レジにいる白衣のおばちゃんが、女の子にお店の袋を渡していた。会釈をして、口元に笑みを浮かべながら歩く女の子。その光景が、どこか懐かしい感じがして。「まちなかにも、若い人がやってるお店がいっぱいできてね」。なかでも、おばちゃんのお気に入りには、ジェラート屋さん。イチゴ味が、とってもおいしいみたいで。お店までの道順を、身ぶり手ぶりを交えながら、教えてくれた。



来てくれた人に、笑顔。そんな想いや人柄をカタチにしたお店が、まちにはいっぱいありました。

食べ手もつくり手も、 そばを楽しむ場所。

織姫神社の山腹、渡良瀬川を望む場所にお店を構える蕎麦庵さん。「そばを楽しんでもらえたら」と話す店主・根本さんの想いは、丁寧に仕立てられたおそばに表れています。そば本来の味と香り、その魅力と合わさる木樽製造のつゆ。そば打ち教室も好評で、食べ手との交流を楽しんでいるおそば屋さんです。



足利の
みせ

蕎麦庵 きょうゆうあん

栃木県足利市西宮町2549

Tel. 0284-21-6818

open. 11:00-14:00 / close. 火曜日

url. www.kyouyuan.com

コーヒーと本。 ゆったりした時間。

旅行、映画、食、小説など。店主の伊部さんがセレクトした本は、コーヒーを飲む時間を、よりゆったりさせてくれます。大きな窓から眺めてみれば、鏝阿寺を囲む石畳や季節の木々たちが。伊部さんとのお話を楽しみに訪れるお客さんも多く、別々に来たお客さん同士がお友達になることもあるそうです。



C&B

栃木県足利市井草町2403 2F

Tel. なし

open. 12:00-19:00 / close. 金曜日

url. 5051cot.jugem.jp

着物の入り口。 足利銘仙にふれる。

かつて繊維産業が盛んだった足利で、女学生に親しまれたカワイイ着物・銘仙。うさぎやさんは、そんな足利銘仙にふれられるお店です。シンプルな素地から、洋風な柄をあしらったものまで。着物の宝探しが気軽に楽しめます。「個性的な古布を通じて、お客さんとお話できたら」と店主の大竹さん。



古布・アンティーク着物 うさぎや

栃木県足利市大門通2380-1

Tel. 0284-41-1000

open. 10:00-18:30 / close. 月曜日

url. ashikagausagiya.blog.shinobi.jp

長くつかうは、 長く付き合う。

足利の風情に寄り添う古民家で、お店を営む粕山さん。床の間に並ぶ籠たちは、山ぶどうやあけびのツルから、つくり手が丁寧に編み上げたものです。つかう人の手によって、深みを増す籠の風合い。「買ってくれたお客さんが遊びに来るたびに、籠の育った様子が伺えます」と、粕山さんは笑顔で話してくれました。



籠や

栃木県足利市家富町2312

Tel. 0284-43-3668

open. 12:00-17:00 / close. 月曜日

url. kago-ya.jugem.jp

昔ながらのパンを、
いつまでも。

やさしい甘さに、桜の香がほんのりと。
桜あんぱんは、ナカダのパンさんが
75年に販売した人気商品。だけど当時の
つくり手たちは、佐野名物に、とは
意気込んでいません。「地元で愛される
ように、真心を込めたパン」と、3代目の
和雄さん。今日もまちのパン屋さんは、
食べる人の顔を眺めています。



ナカダのパン

栃木県佐野市万町2785
Tel. 0283-22-0828
open. 9:00-18:00 / close. 土曜日
url. www.sakura-anpan.com

出会いから生まれる
地元のジェラート。

子どもの頃から市場で遊んでいた高橋
さんのジェラートは、その市場の地元食材
から生まれています。なので味の種類も、
しぜんと季節の彩りに。新メニューの
きっかけは、お豆腐屋や酒蔵といった食の
つくり手さんとの出会いから。そんな
一期一会のジェラートを楽しんでもらう
ことが、高橋さんの想いです。



ジェラートカフェ サンタルチア

栃木県佐野市榎下町445
Tel. 0283-21-3285
open. 11:00-20:00 / close. 水曜日
url. ameblo.jp/santaluchia2000

やさしい味、
やさしい人柄。

お客さんのお目当ては、お店を営む
太田さん夫妻。奥さんがつくる、地元
農家の食材をつかったご飯を食べると、
素材を活かした味にやさしさを感じ
ます。お酒を飲んで、ご主人と音楽に
ついて語ったり、相談ごとをしてみたり。
お客さんから「太田さん家の台所」と
親しまれる、あたたかなお店です。



Mahler's parlor

栃木県佐野市万町30
Tel. 0283-22-7677
open. 19:00- / close. 日・第2月・第4水
url. www.facebook.com/MahlersParlor

心がホッとするような、
こだわりチャイとお店の想い。

味に深みがあってポカポカする、店主・
岡井さんの特製チャイ。オーガニック
スパイスを丁寧に挽くことで、いい香りが
生まれます。お店の原点は、インドの
旅中に入ったチャイ屋。チャイ屋のおじ
さんが、岡井さんのバッグの泥をやさしく
落としてくれました。そんな心がホッとする
お店を、これからも。



チャイ屋 ヨギー

栃木県佐野市大町3026
Tel. 080-4832-1127
open. 12:00-19:30 / close. 水曜日
url. www.yogin.jp

足利と佐野。それぞれのまちに縁のあるおふたりに、
まちの魅力を語ってもらいました。



まちの世代間交流。

福田：学生時代、足利によく遊びに行っていたのですが、石畳通り付近にはあまり来たことがなくて。開放的で、散歩するのに気持ち良さそうですね。

中村：「空が広い」って言うてくださるお客さんもありますね。福田：おしゃれなお店もいっぱいあって。

中村：私がお店をはじめる同時期に、他の若い人たちもお店をはじめたんです。しかも女性が多くて。お客さんには、そんな仲間のお店のことも教えてます。

福田：僕は、妻の実家がある佐野市のまちなかに今年の1月下旬頃、お店を出そうとしてまして。決め手は、地元商店の方々。空き物件を教えてください、経営に関するアドバイスも頂いて。フレンドリーな人がいっぱいいらっしゃるんです。中村：佐野も、若い人のお店が増えてますよね。まちを巡る世代間の交流が活発だと、すごく働きやすい。「孫に宣伝したいよ」って、お菓子を持って遊びに来てくれる近所の人がいて。昔からの人が、新しい人を応援してくれる。福田：僕のお店も、地元の人と楽しくお話しできる場所になれば嬉しいですね。

魅力を、外へ。

中村：世代間交流で言えば、現在、足利市と一緒に、まちなかの未来を考える「あしなか未来ラボ（足利市行政提案公募型協働事業）」というワークショップを行ってまして。参加者が、高校生から80歳代の方までいらっしゃるんです。福田：すごく幅広いですね。中村：ご高齢の方のほうが、まちの未来に危機感を抱いていて。新しい人にまちを担ってもらうにはどうしたらいいか、みんなで考えています。そこで出た1つの案が、そんなまちの人たちの魅力を紹介する冊子。まちにはおもしろい人たちがいて、住むのにもお店を営むのにもいいところですよ、とお伝えできるような冊子を、今年をつくろうと思っています。福田：佐野市にも、魅力的な人はもちろん、その人たちがオススメするお店や景観がいっぱいあるんですが、なかなか市外の人に知られていなくて。まちの人たちと接して佐野の魅力を見つかる、そしてお店や市外のイベントで会った人にお伝えする、というのが、外から来た僕がまちに貢献する最初の一步だと思っています。



左：中村 実穂 / mother tool

栃木県足利市昌平町2352-1

Tel. 0284-43-3354

open. 12:00-18:00

close. 水曜日

url. www.mothers-tool.com

右：福田 重富 / 自家焙煎 福伝珈琲店

栃木県佐野市本町2761-2

Tel. 0283-85-8629

open. 10:00-18:00

close. 木曜日・日曜日・祝日

url. blog.fukudencoffeeiten.com

自然。歴史。暮らし。そして、そのまわりの笑顔。
手のしごとから、まちの風景が見えてきました。



足利の銘仙

着ごちの良いつくり、遊び心のある柄。女性のお洒落着として愛用された着物・銘仙は、大正から昭和にかけ、関東一円で織られていました。「平織り」と呼ばれる、経糸と緯糸を交互に織るシンプルな技法。そのつくりのおかげで、さらりとした肌ざわりの絹を、安価で楽しめます。「繊維のまち」足利の銘仙は、昭和初期、生産量が日本一でした。その理由は、職人さんがいっぱいいた、というだけではありません。足利では、当時入ってきた外国文化に刺激を受けた若者たちを、銘仙づくりに迎えます。色にグラデーションを加えたり、大胆な柄をほどこしたり。彼らは、従来無かった表現を着物に込めました。織り手も、若者の熱意に応えるよう細やかに織っていく。生産量の多さは、そんな彼らの挑戦の数々。現在、足利銘仙は、国内外で再び注目を浴び、若い人たちが織り手のもとへ集まっています。新たな挑戦のはじまりです。

株式会社 絹＋綿

栃木県足利市朝倉町3-21-18 / Tel. 0284-71-1251



佐野の天明 鋳物

安土桃山時代、お茶を楽しむ武将たちが好んだ茶釜は、シンプルな表情をした天明鋳物でした。余計な装飾をほどこさないことで、カタチや質感に技を感じる造りが話題となり、佐野は鋳物のまちとして知れ渡ります。けれど以前から、佐野は鋳物のまちでした。鍋や花瓶などの生活用品は、まちの職人たちの手によって鑄造されたもの。人々の暮らしのなかに、鋳物が根付いていた。「つかってくれる人のために、つくる」。いまの天明鋳物を担う職人さんたちは、口を揃えて答えます。脈絡と続く工芸品は、鑑賞用として崇められがちですが、つかってもらふことで初めて、モノに価値が生まれる。「数百年後に残るモノではなく、カタチが無くなるまで、生活のなかでつかわれるモノをつくっていきたい」。技術とともに、つくり手の大切な想いも、現在の職人さんには受け継がれていました。

栗崎鋳工所

栃木県佐野市亀井町2618 / Tel. 0283-22-0952

open. 9:00-18:00 / close. 日曜日

url. www.sctv.jp/~kurisaki-imono

栃木県内中心市街地のイベント情報〔2014年1月－2014年3月〕



宇都宮市

第7回 うつのみや大道芸フェスティバル

まちなかで繰り広げられる、ジャグリングやパントマイム、バルーンなどの大道芸。笑いに包まれる2日間を。

期間 / 3月15日[土]・16日[日]

時間 / 11:00-17:00

場所 / オリオンスクエア・東武百貨店屋上特設会場など

問合せ / 実行委員会 028-634-1722



真岡市

第五章 真岡・浪漫ひな祭り

市内外から提供されたお雛様を展示。きらびやかなつり雛や段飾りの雛人形が、みなさんをお出迎えます。

期間 / 2月2日[日]－3月3日[月]

時間 / 10:00-16:00

場所 / 久保講堂

問合せ / 真岡市観光協会 0285-83-8135



鹿沼市

おひな様めぐり

約70ヶ所の商店や施設でお雛様が展示されます。「屋台のまち中央公園」などでお配りしている案内マップを手に、のんびりと散策を楽しんでください。

期間 / 2月9日[日]－3月3日[月]

場所 / 中心市街地

問合せ / 屋台のまち中央公園 0289-60-6070



小山市

小山の初市・だるま市

出店ブース、おはやしの演奏、農産物などが当たる福引き、ふる舞い酒、チャリティー豚汁を開催。

期間 / 1月13日[月]

時間 / 10:00-15:00

場所 / 祇園城通り歩道・足利銀行小山支店駐車場

問合せ / 小山の初市実行委員会 0285-22-0273



栃木市

あそ雛まつり

会場内の商店に、昔ながらの雛人形が展示されます。3月1日には、巴波川で流し雛を。また、毎週日曜日にいろいろな体験イベントを開催します。

期間 / 2月15日[土]－3月2日[日]

場所 / 蔵の街大通り周辺など

問合せ / 栃木商工会議所 0282-23-3131



佐野市

FANTASTIC ILLUMINATION in SANO 2013

色とりどりの鮮やかなイルミネーションが、佐野駅前を美しく彩ります。

期間 / 11月9日[土]－2月28日[金]

時間 / 17:00-22:00

場所 / 佐野駅前

問合せ / 佐野駅前交流プラザ 0283-27-0005



足利市

節分鎧年越

足利に春と呼ぶ伝統行事「鎧年越」。坂東武者に扮した市民200人の行列が、勇壮に繰り広げられます。

期間 / 2月3日[月]

時間 / 19:00-20:30

場所 / 織姫公民館－ 饒阿寺

問合せ / 立春会 0284-41-2627



日光市

今市 花市

だるま、熊手などの縁起物や植木、食べものなどの露店が立ち並び、子どもからお年寄りまで楽しめる市です。

期間 / 2月11日[火]

時間 / 10:00-18:30

場所 / 中心市街地大通り・JR今市駅前通り

問合せ / 今市花市実行委員会 0288-30-1171



大田原市

まちなか学校

「出会い」や「学び」を提供する、まちなか学校。

「お菓子」や「写真」、「星空」など、

全6回の授業を行います。

期間 / 1月－ 3月に全6回

場所 / トコトコ大田原・中心市街地

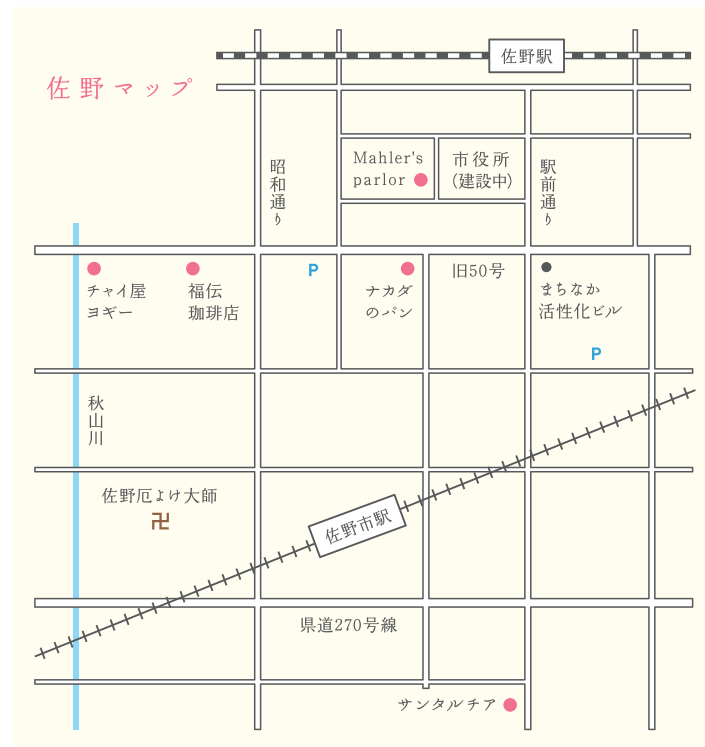
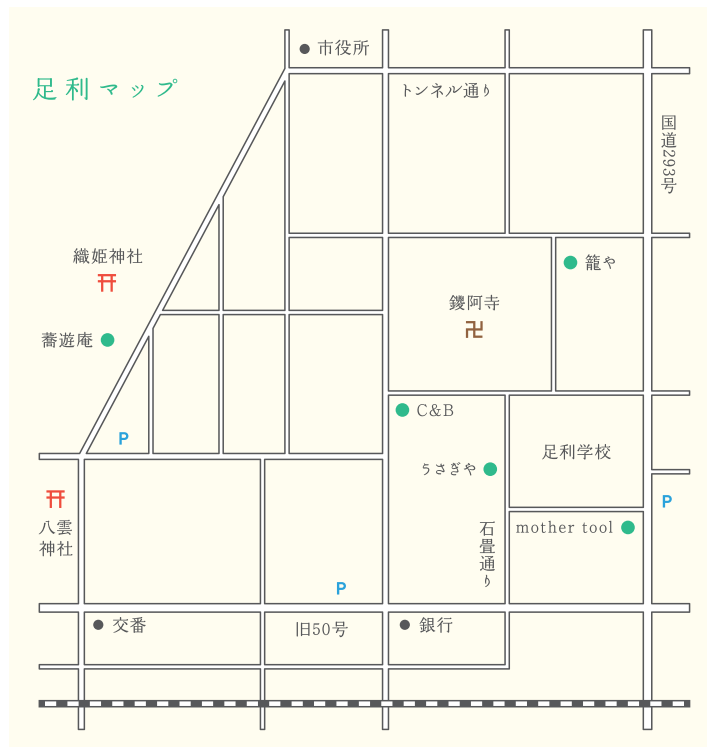
問合せ / 大田原市まちづくり推進課 0287-23-1916

今回のモデル



小澤 見依子さん / 2013 マロニエメイツ

今回は、足利市と佐野市をお散歩しました。足利市は歴史文化が残っていて、まるで京都のようでした。佐野市では、お店の人の温かさいっぱいふれることができて。そんなまちの魅力をたくさん発見できました。



まちなか元気Newsについて

『まちなか元気News まちふらり』は、多くの人に栃木県内の中心市街地に訪れていただけるよう、「まちなか」の魅力を紹介する冊子です。
歩くまちは、毎号2市町村ずつ。次号は、大田原市・那須塩原市となります。どうぞお楽しみに。

発行 / 栃木県まちなか元気会議（栃木県まちなか元気会議事務局 | 栃木県県土整備部都市計画課） Tel / 028-623-2464 Fax / 028-623-2595

「栃木県まちなか元気会議」は栃木県と県内15市町によって構成される協議会で、中心市街地の活性化推進を目的に普及啓発事業を行っています。